

競技体験プログラム【ジュニア】活動報告

- 1 日時
2024年9月7日（土） 9時から12時まで
- 2 会場
保田ヶ池カヌーポロ競技場（みよし市）
- 3 プログラム名
カヌー
- 4 講師（敬称略）
愛知県カヌー協会 鈴木 一生（他3名）
- 5 活動内容

カヌー3回目となる今回は、「カヌーポロ」の体験でした。

前回までのパドル操作を思い出しながら、真っ直ぐ前に進む練習を行った後、バックの練習をしました。そしていよいよボールを使います。二人組でキャッチボールを行いました。講師の先生から与えられた課題の20秒間で10回のパスキャッチは、半数のペアがクリアできました。シュート練習では、少し高い位置にセットされたゴールを目掛けて投げるのですが、ゴールは高くて遠く、濡れているボールは滑るので、難しくて最初はなかなか入りませんでした。講師の先生に投げ方や狙い方を教えていただき、徐々に入るようになりました。最後に、シュートとスプリントのテストを行いました。ボールスピードが速く、講師の先生に褒めていただいたアカデミー生もいました。

隣のコートでは、日本女子代表メンバーの練習が行われており、ハイレベルなプレーを目の当たりにし、「カヌーポロ」の迫力を感じることができました。



上手に真っすぐ進めます



二人組でキャッチボール



ゴールに向かってシュートのテスト



最後に全員で記念撮影

競技体験プログラム【ジュニア】活動報告

- 1 日時
2024年8月31日（土） 9時から12時まで
- 2 会場
三好池カヌーセンター
- 3 プログラム名
カヌー
- 4 講師（敬称略）
愛知県カヌー協会 鈴木 一生、柴田 晴行（他3名）
- 5 活動内容

2回目の体験では、はじめに映像を用いた講義を受け、様々なカヌー競技の種目を学習しました。カヌースプリント、カヌースラローム、カヌーポロなどがあり、それぞれの種目の特性を教えてくださいました。

その後、ライフジャケットの着方やパドルの使い方を復習し、「スプリント艇」に挑戦しました。スプリント艇はバランスを取ることが難しく、安定して乗れるようになるまで苦戦するアカデミー生が多かったです。しかし、講師からのアドバイスを参考にしたり、アカデミー生同士でコツを伝え合ったりして、少しずつ乗れるようになっていきました。また、安定して長い距離を漕ぐことができたアカデミー生は、SUP（サップ）を体験しました。来週は、講義の中で紹介され、多くのアカデミー生が興味を持った「カヌーポロ」に挑戦します。



様々な種目を学ぶ様子



スプリント艇に挑戦



仲間と声を掛け合いながら練習



SUP 体験をするアカデミー生

競技体験プログラム【ジュニア】活動報告

- 1 日時
2024年8月24日（土） 9時から12時まで
- 2 会場
三好池カヌーセンター
- 3 プログラム名
カヌー
- 4 講師（敬称略）
愛知県カヌー協会 鈴木 一生、柴田 晴行（他2名）
- 5 活動内容

1回目のカヌーの競技体験を行いました。始めに、陸上でカヌーについての説明を受け、ライフジャケットの着方やパドルの使い方について学びました。その後、池に移動し「Eボート」と「ポロ艇」に乗るグループに分かれました。「Eボート」は、2艇に分かれて直線で競争しました。「漕ぐ力よりもしっかりと全員の息を合わせることが大切。」という講師の言葉どおり、全員で号令を掛けて漕いだ方が、スピードが出ていると感じられました。「ポロ艇」は、真っ直ぐに進むためにはどのようなパドルコントロールが必要か考えながら取り組みました。来週は、スプリント艇に挑戦します。



カヌーについての説明の様子



パドルの使い方を学びました



ポロ艇で真っ直ぐ進む練習



Eボートは皆の協力が大切